QuickCreator

ブラウザ
SMILE クライアント
用語解説

笑顔の先に、価値がみえる OSK

マスター検索って何だろう？

マスター検索って何だろう。どんな時に使うのかな。

登録済みのデータの中から検索する時に使います。
例えば、登録済みの顧客情報に対して変更や削除の処理を行う場合に、
対象の顧客情報のデータを検索で抽出します。

業務改善のミカタ

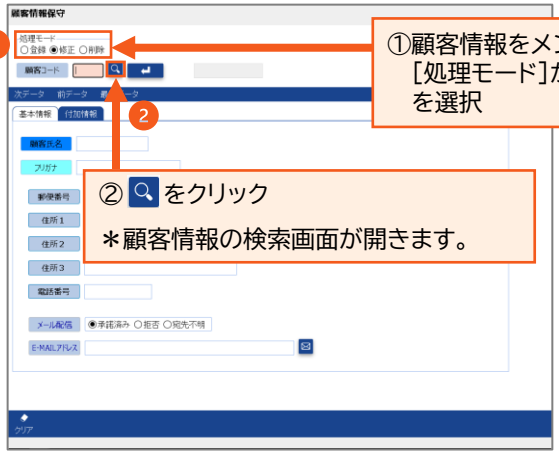
マスター情報や伝票のデータ入力時に、🔍を押すと検索画面が表示されます。
詳細条件を利用すると、データの絞り込みを行うための検索条件を設定できます。

実際に見てみよう！

STEP 1

顧客情報の検索開始：顧客情報の保守用の画面

＊ ここでは、顧客情報の保守をおこなうブラウザの画面を例に説明します。



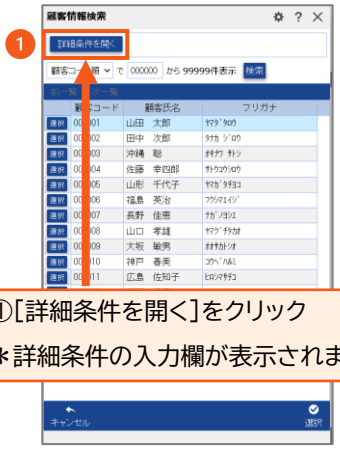
①顧客情報をメンテナンスする想定で、
［処理モード］から「修正」あるいは「削除」
を選択

② 🔍 をクリック
＊顧客情報の検索画面が開きます。

Copyright©2023 OSK Co., LTD. All Rights Reserved.

STEP 2

顧客情報の検索：顧客情報の検索画面



①[詳細条件を開く]をクリック

＊詳細条件の入力欄が表示されます。

②詳細条件を入力して検索実行

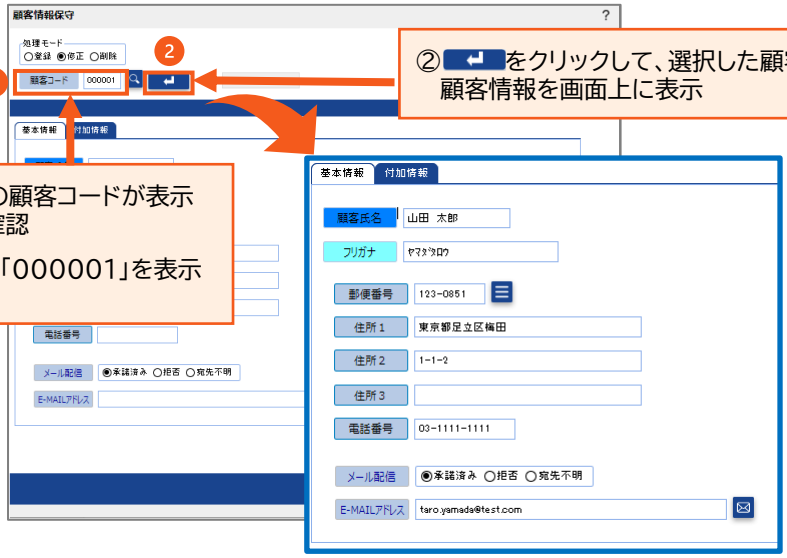
＊顧客情報の保守用の画面の入力項目を検索条件として利用します。

③検索結果の一覧から、処理対象となる顧客情報を 選択 をクリックして確定

＊選択と同時に、顧客情報の検索画面が閉じられます。

STEP 3

顧客情報の検索結果を表示：顧客情報の保守用の画面



①選択した顧客情報の顧客コードが表示されていることを確認

＊ここでは顧客コード「000001」を表示しています。

②↵をクリックして、選択した顧客コードの顧客情報を画面上に表示

QuickCreatorの情報はこちら → https://www.kk-osk.co.jp/promotion/qc/

Copyright©2023 OSK Co., LTD. All Rights Reserved.